

患者さまへ

「外来血液透析患者における薬剤師の介入効果の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2020年1月～2023年12月の期間に当院において外来血液透析を行われた方
2 研究目的・方法	<p>外来透析室に薬剤師を配置している病院は少なく、外来透析室における薬剤師の有効性は明らかにはなっておりません。実際に、外来透析室における薬剤師の処方薬に対する網羅的な介入効果を検討した報告は少なく、特に薬剤師が外来血液透析患者に関して行った疑義照会や残薬調整といった薬学的介入の具体的な内容、及び、こうした薬剤師の介入が患者状態、検査値等にどのような影響を与えたかについては殆ど報告されていません。</p> <p>こうした背景のもと、当研究では、薬剤師による外来血液透析患者に対する薬学的介入とその結果を検討します。当院で外来血液透析をお受けになる患者さまに対する、薬剤師による薬学的介入の内容と件数、及び、介入後の患者さまの状態や検査値等を調査することで、薬剤師の介入の有効性を評価します。この研究の結果は、現在行われている介入内容の見直しや、より有効な介入方法への改善につながる可能性があると考えています。</p> <p>研究の期間：施設院長許可(2024年3月予定)後～2025年3月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、検査値、処方箋枚数、疑義照会・情報提供内容と件数、副作用等の発生状況等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 大塚秀人 湘南鎌倉総合病院 薬剤部 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号：0467-46-1717</p>